

平成 15 年度認定			
  	氏名	古木 益夫 (ふるき ますお)	昭和 23 年生
	住所	北海道名寄市	
	分野	薬用作物	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特産物マイスター協議会 理事 ・ 生薬関連企業で 30 年以上、北方系薬用作物の振興と普及に携わる ・ 東日本大震災からの復興のため、宮城県涌谷町での薬用作物振興に協力するなど、生薬の産地化、安定化に貢献 ・ メーカーと共同で新産地の栽培生産指導強化、生産拡大に努める。 	
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬用作物の特性を理解して、気候、土壌等を改善、改良して機械化することで省力化及び生産向上に努めることが必要 ①土壌改良（排水、緑肥、堆肥等） ②施肥（利用部位に対する肥料の施し方） ③病虫害、除草剤の適性な使用（時期） ④管理作業 	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年 9 月 25 日 日本生薬学会 功労賞 	
	主な役職		
	最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産農家の技術指導 ・ メーカーとの栽培、生産向上のための試作及び土壌改良 ・ 良苗の生産及び種苗供給 	
HP			

平成 15 年度認定			
  	氏名	上田 稔 (うえた みのる)	昭和 14 年生
	住所	茨城県小美玉市	
	分野	れんこん	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特産物マイスター協議会 副会長 ・ れんこんの品種改良に取り組み、「タマミノリ」、「ミノリュタカ」、「一稔 (いちみのり)」「ひたちたから」(茨城県優良系統選抜品種)の4種類を登録 ・ 茨城県から特別栽培の認証を受け、収量も化学肥料栽培と変わらない ・ 登録品種「ひたちたから」は茨城県の奨励品種として現在、県内産地で増殖中 	
	相談・指導に応じられる分野	れんこんについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 交配のしかた ・ 交配した実のまきかた ・ 栽培のしかた ・ 種子選抜の仕方 ・ センチュウを細根から分離して顕微鏡で調べたり、見方の指導 	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴		
	主な役職		
	最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で米作り指導 (9年間) ・ 田植えから稲刈りまで ・ れんこんの育種、交配及び品種改良 ・ 系統選抜のしかた、品種登録の申請のしかた 	
HP			

平成 15 年度認定			
 	氏名	山縣 繁一 (やまがた しげかず)	昭和 23 年生
	住所	茨城県北茨城市	
	分野	自然薯	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 野生種で日本原産の山芋「自然薯」の人工栽培は 1980 年から始まりました。山口県の政田さんが開発したこの方式を 1985 年に指導を受け始めました。 その後、優良品種の選抜育種、栽培工法の簡易化、低コストなどの改良を重ね、独自の方式を確立しました。(1995 年頃から) 安定生産の定着により、1999 年、茨城県園芸産地コンクールの最優秀賞を授与したのを契機に技術公開に踏み切りました。 生産者の中から 10 名の指導員を選び個別指導の体制を整備し、現在、全国に 700 名を超える会員を持ち、指導・相談・技術支援を行っています。 	
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> 技術の指導・相談は常時受け付けています。 電話での問い合わせが多く、即答して対応しています。 資料等補足して説明する場合は、CD にまとめた「補修編」、「実技編」など 30 分にまとめたビデオや文書を送付する方法もあります。 年に 2 回、会員に近況の課題とその対応策など、薦めている方策を情報として提供しています。(文書にて発送しています) 	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> 平成 11 年 茨城県きらり園芸産地コンクール 最優秀賞授与 平成 12 年 茨城県マイスター認定 平成 14 年 2 月 24 日 NHK「食べもの新世紀」で取り上げられ、全国放映され、問い合わせが集中した。 	
	主な役職		
	最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 栽培技術についての問い合わせの対応 栽培マニュアルをビデオに就労した 3 巻を提供する方法としています。他に PR 用と料理の工夫なども併せると 5 巻を用意しています。主な問い合わせは電話や FAX、手紙などが主体で、個々の要望に応じて対応しています。 ② 見学、研修については、いつでも受け入れています。 	
HP			

平成 15 年度認定			
 	氏名	新倉 庄次郎 (にいくら しょうじろう)	昭和 16 年生
	住所	東京都西東京市	
	分野	ハーブ	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 59 年よりはハーブ栽培を開始。試行錯誤の中から栽培技術を習得。現在、50 種類を超えるハーブを生産し、量販店、仲卸、レストラン等に販売。 ・ 高品質のハーブ生産を行い、レストランのシェフが畑を訪れ、ハーブを見ながら料理をイメージするなど、ハーブの新しい利用方法を開発。 ・ 近隣のハーブ生産者らへ技術指導を行い、地域のリーダー的存在として、ハーブの利用促進、地域農業の発展に貢献。 	
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩土作り友の会の会長として土作りの勉強会を 25 年にわたり奨励してきました。講師は江井兵庫先生です。 ・ ハーブは、見学者が都市生活者、レストランシェフ。ホテル関係者、また農業生産者等が毎週多数訪れ、対応しています。 ・ テレビ、ラジオ、雑誌等の取材もあり、また、講演等の依頼もあり、忙しい中でもできるだけ応じるようにしています。 	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 59 年 東京都企業的農業共進会にて都知事賞受賞 ・ 平成 13 年 第 41 回全国施設園芸共進会農林水産局長賞・全農会長賞技術奨励賞受賞 	
	主な役職		
	最近の活動状況		
HP			

平成 15 年度認定			
  	氏名	守屋 吉雄 (もりや よしお)	昭和 9 年生
	住所	静岡県熱海市	
	分野	七尾たくあん	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明治初期から「七尾たくあん」として漬物加工が行われてきたが、昭和 40 年に代表となって農事組合法人を設立、本格的な漬物加工を始める。 ・ 漬け込み後 3 年間保蔵して出荷し、まるやかでこくのある田舎漬け、ひねたくあんとして高い評価を受け、熱海の特産物として定着させる。 ・ 現在、熱海市農業委員会会長などに就任し、市の農業振興に力を注ぐ。 	
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別に対応しますので、ご相談ください。 	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品産業優良企業等表彰 農林水産大臣賞 	
	主な役職	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 5 年 4 月～平成 11 年 熱海農協 監事 ・ 平成 5 年 5 月～平成 17 年 熱海市農業委員会 会長 	
	最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 40 年 12 月農事組合法人設立後、平成 29 年 3 月 友和組合株式会社を設立、現在顧問として社員の指導に努める 	
HP			

平成 15 年度認定		
	氏名	松本 憚 (まつもと あつし) 昭和 19 年生
	住所	石川県金沢市
	分野	加賀野菜 (源助だいこん、打木赤皮甘栗かぼちゃ、加賀太きゅうり)
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加賀野菜の栽培技術を維持伝承する野菜専門農家。父が育成した源助だいこん、打木赤皮甘栗かぼちゃを親子二代にわたり原種保存し、栽培技術の指導などに努める。 ・ 加賀野菜保存懇話会の生産者代表や金沢市農産物ブランド協会幹事の役職を努め、近隣市町村への加賀野菜の栽培技術指導に出向くなど、地域特産物として、加賀野菜の生産振興とブランド化の推進役として活躍。
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別に対応しますので、ご相談ください。
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 23 年 金沢市農林漁業功労賞受賞
	主な役職	
	最近の活動状況	
HP		

平成 15 年度認定			
  	氏名	森口 昌英 (もりぐち まさひで)	昭和 13 年生
	住所	兵庫県篠山市	
	分野	栗「丹波栗」	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹波栗振興のためこの道一筋です。 ・ 高齢化のため廃園になりつつある栗園の再生のため、剪定士協議会を立ち上げ、その成果が表れるとともに、栗は作るもの（大粒）との認識が生まれつつあるので、さらなる技術指導や栽培についての問題点を伝えていきたい。 ・ シルバーの労務班の人達に技術指導 ・ 熟年者講座の中で果樹（特に栗、柿）の剪定指導 ・ 高校生の授業の中、年間丹波栗について4時間（2時間×2日）を頂き、講師を務めている。 ・ 地域の小学生に丹波栗について校外学習など行っている。 ・ 令和2年で栗作り62年目を迎える 	
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 61年間の栽培経験の中でわかっていることは、すべて伝えることを基本として、講演はもちろん、技術指導や相談事（遠方の方は電話対応）にも対応している。私の園地での指導、講習はもちろん、見学会も受け入れている。テレビ等の取材にも受け入れている。 	
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 兵庫県知事 地域振興功労賞受賞 ・ 農業電化協会（関西電力） ・ 農業電化推進コンクール優秀賞受賞（温湯消毒） ・ 平成29年 なかしんふるさと賞（商工業部門）中兵庫信用金庫 	
	主な役職	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和50年～現在 丹波栗 栗振興会理事 ・ 平成5年～現在 丹波栗剪定士 ・ 平成10年～平成20年 兵庫県栗部会会長 ・ 平成18年～平成28年 篠山市森林組合副組合長 ・ 平成22年～平成27年 篠山市農振整備促進協議会委員 ・ 平成22年～現在 丹波栗再生戦略会議委員 	
最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内であれば、相談事やカットバック、接木等の技術指導は出向いて行っている。 ・ 廃園になりつつある栗園の再生のため、丹波栗再生戦略委員の一人として、頑張っている。 ・ 小学生に丹波栗についての校外学習を行っている。 		
HP			

平成 15 年度認定		
	氏名	二俣 早男 (ふたつまた はやお) 昭和 9 年生
	住所	鹿児島県鹿児島市
	分野	茶 (手もみ製法)
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島市茶手もみ保存会 (合併前松元町茶手もみ保存会) 会長として、会の運営・技術向上及び後継者育成に努める。 茶手もみ技能士として、各種イベントで茶手もみ実演を行い、伝統技術の普及に努めている。 茶手もみ専用施設である「茶山房 (さざんぼう)」で、茶手もみ素人教室を実施するなど、伝承技術の体験、製法技術の普及、PR に尽力している。 平成 15 年に全国手もみ茶振興会より「師範」の認定を受け、会の副会長 (理事) でもある氏は、例年、静岡県で実施される全国手もみ製茶技術競技大会の鹿児島市での実施を提案し、平成 16 年と 21 年の 2 度実行するなど、会の発展及び茶業振興に寄与している。
	相談・指導に応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> 子供から大人までを大賞とする茶手もみ素人教室における講師。 小・中学生を対象に手もみ製茶の実践や理論に関すること及び茶の種類、淹れ方、効能など、茶の基礎知識についての学習会等での講師。 手もみ専用施設である茶山房や自宅等において、手もみ技術についての教師以下の資格認定を目指す人を対象に実施する技術指導。
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県茶手もみ技能士認定
	主な役職	
	最近の活動状況	
HP		